

再生材の供給確認書

平成 年 月 日

様

施工者 住 所
社 会 名
代 表 者

印

再生材の供給について、その可否を確認します。

1 工事名及び工事箇所

工 事 名	
工 事 箇 所	

2 再生材の使用予定量及び供給可能量

再 生 材 種 別	使用予定量	供給可能量	使 用 予 定 時 期
再生クラッシャーラン (RC-40)	t	t	年 月 日 頃から
			年 月 日 頃から
			年 月 日 頃から
			年 月 日 頃から
再生加熱As混合物 (細粒度 As13)	エコスラグ入	t	年 月 日 頃から
	エコスラグ無	t	年 月 日 頃から
再生加熱As混合物 (粗粒度 As20)	エコスラグ入	t	年 月 日 頃から
	エコスラグ無	t	年 月 日 頃から
再生加熱As混合物 (密粒度 As20)	エコスラグ入	t	年 月 日 頃から
	エコスラグ無	t	年 月 日 頃から
再生加熱As混合物 (密粒度 As13)	エコスラグ入	t	年 月 日 頃から
	エコスラグ無	t	年 月 日 頃から

- 注) 1. 再生骨材の品質・規格は「再生材の利用基準」の別記 1~4 による。
 2. 再生加熱As混合物の品質・規格は「プラント再生舗装技術指針」による。
 3. 使用予定量、使用予定時期は請負者が記入し、使用予定量は割増しを含む。
 4. 供給可能量は再生資源化施設で記入する。

平成 年 月 日

様

再生資源化施設 住 所
社 会 名
代 表 者

印

年 月 日 付けで確認依頼のあった再生材の供給について、下記のとおり回答します。

再生材供給の可否(該当する箇所に○)

- (1) 品質・規格を満足した再生材を全量供給可能(上記の供給可能量のとおり)
- (2) 品質・規格を満足した再生材を一部供給可能(上記の供給可能量のとおり)
- (3) 供給不能(理由を下記の該当する箇所に○)

- 理 由
- ① 品質・規格が満足しない。
 - ② ストックがない 再生加熱AS混合物の場合(エコスラグ・再生骨材)
 - ③ その他 ()